

株式会社アートネイチャー
2019年3月期 決算説明会 質疑応答概要

こちらは2019年5月23日(木)に開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会にご参加頂いた方からの質問に対する回答になります。

Q. 2019年3月期について増収増益となった要因を教えてください

- A. 増収の要因については、メンズ事業におけるリピート売上が好調に推移したことに加え、上期苦戦していたレディース事業において、営業体制の一本化やジュリア・オージェ事業の10周年施策が奏功したことが挙げられる。
- また、増益の要因については、売上高の増加に加え、2017年のカンボジア社譲渡による売上原価の減少や、経費の抑制的な運用が順調に進展したことが挙げられる。

Q. 当社は前期増収となったが、市場全体はどうか。また、当社のシェアはどうか

- A. 市場に関する公式なデータは無く、矢野経済研究所より出版されている「ヘアケアマーケティング総鑑」を参考とすると、2017年度毛髪業市場全体で微減となっている。その中でも、女性向けのマーケットシェアについては、その他の割合が伸びており、安価なものを取り扱う企業の割合が増えていると想定され、ウィッグを手にするお客様の数自体は増えていると考えている。
- 市場全体が微減となっている中、当社は増収となったこともあり、自ずとシェアも高まっていると推察している。

Q. 今年消費増税が予定されているが、過去の経験から、影響をどうみているか。

- A. 前回の消費増税の際には、特に女性向けにおいて駆け込み需要があり、翌月以降において反動により売上高が伸び悩んだ。今回の消費増税のタイミングは10月であり期中であるため、トップシーズンである秋以降の販促策等で、年間を通して計画通りの増収としていきたい。

以上